



# 日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り  
第 30 号  
2010年1月20日  
編集兼発行人  
藤森 好則

\*\*\*\*\*



小平浪平氏  
明治四十三年  
の秋茨城  
日立村の  
此地に似  
製作所を  
業須を創

日立製作所創業  
100年を迎える  
創業小屋と  
創業石

撮影日：平成 21 年 12 月 23 日  
撮影：支部便り編集委員

## 新年を迎えて



### 日立製作所創業百年を 迎えて

支部長 佐藤 一男

新年明けましておめでとうございます。世界経済は今まだ元気なく、日本も不況感が深まるばかりで、大変厳しい時代を迎えています。

しかし、今年も、初春の太陽は新たなる決意を持って昇りました。そして、日立製作所は創業百年の記念すべき年を迎えます。

この節目の年に、私は次の3点を考えました。

#### ① 日立の語り部の一人となろう

日立の百年を見聞きして来た者として「日立らしさ」「日立の心」を後輩たちへ伝えたい。

#### ② 社会貢献の輪を広げよう

日立理科クラブの基盤を固め、OBはもとより現役へも参加を呼びかけたい。

#### ③ 次の20年の夢を描いてみよう

時の流れは速く残された時間は短い。無理のない自分らしい人生計画を立て、歩もう。

日立社友クラブも新時代を考えることも大切であります。人がより集い、友愛に満ちたクラブ活動を広げたいものであります。

社友の皆様のご支援ご協力をおねがいます。

最後に、皆様をはじめご家族のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

### 茨城支部からのお知らせ

#### \* 第59-1回日立社友クラブ理事会報告

開催日：平成 21 年 12 月 9 日(水)  
議 事：会員候補から 40 名が入会許可され、会員数 4,926 名となった。  
新理事として長島重和氏が紹介された。

#### \* 第22-1回茨城支部役員会報告

開催日：平成 21 年 12 月 15 日(火)  
議 事：長島新副支部長が就任した。また、新入会員候補 3 名の入会が承認された。  
会員数は 1,066 名になった。

### 茨城支部総会のご案内

平成 22 年度第 108 回茨城支部総会の開催を以下に予定していますので、一年ぶりに皆様との語らいを楽しみに、多数のご参加をお待ち申し上げます。

1. 期日：平成 22 年 5 月 28 日(金) 11:10~14:30
2. 会場：ホテル天地閣

★詳細内容は別途後報致します。



#### 茨城支部副支部長 長島 重和

新春のお喜びを申し上げます。この度、副支部長を拝命いたしました。日立創業 100 年の年に担当できますこと、誠に光栄であります。また今年の干支は「庚寅」、時機は熟し虎の如く威勢良く成長する年とか、微力ではありますが佐藤支部長を支え、更なる茨城支部発展のお役に立てるよう頑張ります。会員の皆様のご指導を宜しくお願いいたします。

# 外国人に日本語の会話を教える 《日本語教室ボランティア活動》

高坂 七三



外国人に日本語を教えるボランティアを始めて、はや一〇年も経った。最初に担当した生徒は変圧器の設計の研修に来ていたインドからの青年であった。今から思うと、新米の先生で随分いい加減な教え方だったろうに、真剣に勉強してくれた。生徒の大半は明確な目的意識を持ち、しかも海外で活動しようとする人達である。学ぶ真剣さの度合いが違う。当然の事ながら教え甲斐がある。毎週二時間の授業で会えるのが楽しみだった。次の授業にいろいろ準備することも楽しかった。

教室へ来る皆さんの滞日期間は大体二、三年以下で、生徒のローテーションは激しい。この一〇年間で随分多くの人たちとの出会いがあった。大学で博士号をとり日本の企業とか研究所に就職した中国からの青年たち、超積極人間で元気がつらつとしたアメリカからの女性英語教師、小生の元の職場で技能研修に励むチームワーク抜群の中国からの若者達、日本企業で働くご主人と一緒に暮らし子供さんを学校に通わせPTA活動に励んで

いる中国からの主婦と、懐かしく思われる。別れが淋しいもの、上手になつたお礼の挨拶



あんず日本語教室

「願わくば、残したるうか：愛する人の瞳に愛する人の瞳に俺の山河は美しいかと美しいかと。」

ここまではとうてい無理だが、せめて気持ちだけはこうありたい。そこで勇気を出して社会福祉協議会で紹介された、外国人のための日本語教室ボランティアグループ「フレンドリーあんず」の活動現場を見学した。主婦中心の、従って女性が大半のグループである。にも関わらず年配のじじい歓迎され、早速仲間に入れてもらった。

意外なことに、日本語教室では、外国人に日本語を教えるための媒介語(相手の国の言葉とか、共通語の可能性のある英語など)の能力は不要であった。素晴らしいことに、日本語だけで教えられる教材が開発されていたのだ。良く考えてみれば、生徒は英語圏だけに限らないし、色



授業風景

いよ年金生活、いつてみれば周りにお世話になりっぱなしだ。自分が楽しむだけの人生でいいのだろうか、人生の締めくくりに段階でもやはり何がしかのお役に立ちたいという思いがあったように思う。小生の大好きな歌に、小椋佳さん作詞の「山河」というのがある。

拶などをされる、嬉しかった。このボランティアの理由の一つは、この定年を迎え、これからはいよいよ

んな国の生徒が混ざっていれば、当然唯一の共通語は日本語なのだ。文法は勿論必要となる。しかし中学校時代に、小生が完全に拒否反応をおこしていた。

「きくくるくれこよ」などの学校日本語文法は不要だった。外国人むきに、解りやすくやさしく体系化された文法を勉強すればいいことが分った。

入会当時は、新人のための講座はなく、とりあえず通信教育をうけ、教え方や文法を勉強した。幸い少し経つと、県主催の巡回初級日本語ボランティア養成講座(三十時間)が日立で開かれたので、それを受け、ようやく一人前としてスタート出来た。現在では、この講座は毎年日立で開かれるようになり、日本語ボランティアを目指す人にとっては便利になっている。

教室は楽しさが高じて、火曜だけでなく、金曜にも参加したり、出前教室と称して元の職場にも押しかけ教えたこともある。週三回もよくやったものだ。しかし、よくよく考えてみると「教えていた」というより「元気を貰っていた」という方がはるかに当てはまっている。今では教室の規模も大きくなり、雑用も増え週一回の授業にも手が廻りにくくなっている。

生徒の皆さんとは教室だけの付き合いに留まらない。県や市で開催される「外国人によるスピーチコンテスト」出場者へのお手伝い、「日本語能力試験」受験者への特訓、果ては、「日本語で書かれた博士論文」のチェックまでお手伝いをしたこともある。勿論、会が実施する恒例の夏祭りのバーベキューや年末の年忘れ会も多くの人達が集まって

楽しい。嬉しいことに卒業生が赤ちゃんまで連れて参加してくれる。

日立市には外国人が約一五〇〇人、その内、我々の火曜と金曜教室へは、中国からの方が圧倒的に多く、インドネシア、インド、ベトナム、アメリカ、その他色々の国からおおよそ五〇人が通っており、少しづつではあるが増え続けている。日立市にはボランティア日本語教室があつたから、一〇〇人以上が勉強しているはずだが、国際化が進む現代、ますますこの傾向は加速すると思っている。

教える側のボランティアは今も主婦やOLが主力である。小生のような定年退職者は依然として珍しい存在である。仲間が増えることを夢見ている。



年忘れ会で全員集合

高坂 七三氏 連絡先

〒319-0034

日立市東成沢町 3-19-27

電話 0294-35-3989

## リレー随筆 (30)

### 旅・・・日本一周を目前にして 鹿島 芳丈

「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」と芭蕉が言っているように、時の流れを旅に喩えた古人は沢山います。我々は、過去から未来へと続く時間と、地球から宇宙へと広がる空間の中の旅人と言えるでしょう。



生まれて二十数年、世間や学問の初歩を学び、二十数年、エンジニアとして設計や開発に従事し、その技術が世界に広がり、更に、二十数年、管理や経営に携わりました。これを時間の旅とすれば、最初の二十数年を除いては、自由な時間と自由な空間の旅は、あまりありませんでした。そこには、「仕事という大きな旅」の制約があったのです。その間、仕事以外の時間と空間の旅の感覚を補ってくれたのは、様々な本の世界でした。伝記を読み、他人の人生の旅を短時間に追体験し、歴史を学び、時間の流れを追体験し、小説やSFを読み、別世界や未来空間を感じるなどです。

そして、「仕事という大きな旅」の後は、自由な旅を楽しもうと思うようになりました。より広く、深く旅を楽しむには、目的の空間内で広く、早く、移動できる手段を持つことが必要です。という訳で、64歳で自動車運転免許を取りました。

日本は、歴史の殆どが外部から荒らされる事が無く、

その断絶もありません。歴史的な変化をそれぞれの土地で感じる事が出来ます。一万年以上前の縄文の遺跡を見て、そこに住んでいた人達の血脈が自分まで繋がっていると言うことを感じる事が出来る国は、おそらく日本以外にはないでしょう。

自分の人生の数百倍もの時間の旅を自分のものとして感じる事が出来るということは、日本人に生まれて一番の幸せなことです。

免許を取って半年後、四日ほどレンタカーで九州の旅をしたのが皮切りで、全国を旅しました。今年、本州最東端(トドガ崎)最南端(潮岬)と周り、日本の四島のほぼ



潮岬にて

全土を周ったこととなります。残るは、沖縄などの島々ですがこれは全部周るのは不可能でしょう。

しかし、最近、本などとは違う新しい旅の手段が出来てきました。それはインターネットの世界です。多くの人達の旅の記録や体験を写真などと共に見ることが出来るようになりました。

空間的な旅もまた、更に広がったのです。そして、それを見るだけでは、満足できず、自分の旅の記録もホームページで発信するという楽しみが出来ました。

## 同好会行事に参加して

### 「歴史探訪」

伊藤 晃



歴史探訪、由緒ある遺跡に立ち、史実を見聞き往時に思いをめぐらせるとき、近くの岩石樹木までが何かを語りかけているような不思議な雰囲気さえ覚える。御開山1400年、奥州出羽三山の奥宮、湯殿山の御神体参詣では、履物を脱ぎ素足でお祓いを受けたのち、小さな人形(ひとがた)に穢れ(けがれ)を移し足元の小川に流してから、御神体(上部から湯を噴出している茶褐色の巨大な岩塊、撮影厳禁)の周りを小山を登り降りするようにしてひと巡りすると、何とも言えぬ神秘的なものを感じ身が引き締まる。この感じは自分がそこに立てはじめて体験できることで、これこそ[歴史探訪]であると思う。

### 「卓球クラブ」

小林 啓治



ゴルフの上達に役立つならばと練習に参加してみる。以来数年経つても、スコア改善とは行かない。しかし、ラリー後のダブルスの試合が楽しみである。パートナーはジャンケンで決めるので、偶然にも上手な人と組めば勝ち進めるし、逆の場合もある。いずれにしても、勝負に関係なく楽しんでいる。最近は大リーグボールが流行し、シニア卓球大会ではこれが主流らしい。慣れるのに大変である。上位者は対外試合に参加して入賞しているが、私は健康維持に努めているだけである。継続は力なりと言われるが、喜寿を過ぎて矍鑠(かくしゃく)としている仲間を見習い、これからも練習に励みたい。《人間に磨きをかける 年男》

### 「シニアパソコン」

小原 哲夫



定年退職後地域の自治会、防災会、民生児童委員、赤十字奉仕団員など、仲間と楽しく活動してきました。行動計画などの資料作りでは、パソコンの知識不足もあり苦労していましたが、社友クラブ同好会に「シニアパソコン教室」があることを友人から紹介され参加しました。豊富な資料による具体的な指導、パソコンの新機種やソフトの紹介と使用方法の解説、諸先輩との懇談などもあり毎回出席が楽しみです。はじめの頃は講師や諸先輩の話を理解するのも困難でしたが、通いつめるに従って段々分かるようになってきました。今まで苦労していた文書の作成も容易にできるようになり、E-mailなどで遠方の親戚との親交も深まりました。文書作成に磨きをかけて、来年こそは自分史の完成を目指して頑張る所存です。

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。

衷心よりご冥福をお祈り致します。

渡邊 鴻一	平成 21年 3月 5日	享年 84歳
石井 信勝	平成 21年 10月 29日	享年 68歳
清水 桂二	平成 21年 12月 13日	享年 75歳
雁部 敬	平成 21年 12月 29日	享年 84歳

編集後記 会員の皆様、明けましておめでとうございます。新編集委員として下坂 卓夫氏を迎え編集委員一同より良い支部作り作りを努めてまいります。皆様のご協力よろしくお願い致します。高坂さんの「日本語教室ボランティア活動」に感銘し、鹿島さんの「日本一周を目前にして」では新しい勇気を頂きました。 藤森 好則

## 同好会の行事ご案内(2月～4月)

### 1. 第43回研修会

#### [ANA機体メンテナンスセンター見学]

羽田空港敷地内のANA機体メンテナンスセンターを見学します。センター内の講堂で整備等の説明を受けた後、格納庫にて整備作業中の実機を見学します。

- ・開催日：平成22年2月24日(水)
- ・集合：神峰駐車場 7:00 出発  
南ドライブイン 7:30  
勝田駅西口 8:10
- ・会費：4,500円予定(バス代、昼食代他)
- ・募集人員：先着45名、申込締切1月29日(金)
- ・申込先：小口伊佐男 Tel/Fax: 0294-37-3048  
E-mail: isao\_oguchi@lake.ocn.ne.jp

### 2. 第41回歩こう会

#### [磯部・桜川の山桜コース]

今年の春は「西の吉野、東の桜川」と言われ、千年の歴史を誇る「桜川の山ざくら」と稚児を探す母を描く世阿見の謡曲「桜川」発祥の地を歩くことにします。

- ・開催日：平成22年4月14日(水)  
(雨天中止の場合は5月12日に延期)

### 4. 定例行事予定一覧表

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考	
		2月	3月	4月				
野鳥自然観察グループ	藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	15(月)			葛西臨海公園 高戸海岸	9:00～ 12:00	参加費:¥200 2月は募集時連絡 原則 雨天中止	
			15(月)					水沼ダム・花園
				19(月)				
囲碁の会	日立地区 安藤捷治 0294-37-0759 s-andou@my.email.ne.jp	10(水) 24(水)	10(水) 24(水)	14(水) 28(水)	東暁館別館	10:00～	参加費:¥100/回 大会:¥1300	
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	18(木)	18(木)	15(木)				大島コミュニティセンター
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	8(月)	8(月)	—	山本八千代料理学院 明治商会	10:00～	参加費:¥2000/回 参加費:¥1600/回	
		22(月)	23(火)	12, 26				
卓球クラブ	石川隆宏 0294-32-0261 spka5da9@citrus.ocn.ne.jp	3(水) 17(水)	3(水) 17(水)	7(水) 21(水)	日立体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年	
デジカメクラブ	佐藤一男 0294-53-4573 satoka31010@net1.jway.ne.jp	1(月)	1(月)	5(月)	撮影会以外は 東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む	
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	5(金)	5(金)	2(金)	東暁館別館	9:30～ 12:30	参加費:¥300/回 昼食別途	
パソコングループ	シニアPC I II	大越健児 0294-37-4931 ken-ooko@muc.biglobe.ne.jp	15(月) 23(火)	15(月) 23(火)	19(月) 27(火)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食別途
		中村進 0294-52-5525 ssm2332@hb.tp1.jp	2(火)	2(火)	6(火)			
	基礎講座	山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	9(火)	9(火)	13(火)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1400/回 昼食代含む
	極楽サロン	島田勇一 0294-34-4467 yshimada@ng.ejnet.ne.jp	18(木)	18(木)	15(木)	東暁館別館	10:15～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	23(火)	24(水)	27(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	MM研	藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	26(金)	26(金)	23(金)	東暁館別館	10:00～ 15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む

専門講座の日程<PowerPoint 2007 勉強会:原則第1木曜日、Acrobat8 勉強会:原則第4木曜日>

- ・集合：JR水戸線羽黒駅 10:15 集合 10:25 出発  
(日立 9:05→大みか 9:14→勝田 9:31  
→水戸 9:37→友部 9:54→羽黒 10:15)
- ・コース：JR羽黒駅→月山寺→桜川橋→磯部稲村  
神社→磯部桜川公園→ラスカー→石匠のみち  
→JR岩瀬駅 14:30 解散 (7.5km 平坦コース)  
(岩瀬 14:47→水戸 15:34→勝田 15:40→日立 16:05)
- ・要持参品：昼食、飲み物、
- ・会費：200円(非会員は500円)
- ・申込締切：平成22年4月7日(水)
- ・申込先：垣貞玲吉 Tel/Fax. 029-274-1727  
E-mail: ryk888@pure.ocn.ne.jp

### 3. 第23回歴史探訪

#### [会津三観音詣で]

会津三観音は、俗称「ころり三観音」と云われて有名です。寿命を全うし「ころり」と黄泉(よみ)の国に旅たつことが出来ると信じられています。

- ・開催日：平成22年4月26日(月)
- ・集合：勝田駅西口 7:00 出発  
南ドライブイン 7:40  
神峰駐車場 8:00
- ・会費：5,000円予定(昼食代、入場料等含む)
- ・募集人員：先着40名 申込開始3月1日より
- ・申込先：薄浩八 Tel/Fax: 0294-35-9121  
E-mail: k-usuki@mwa.biglobe.ne.jp